

3DTascalX

タスカル エックス

インストールガイド

1. フローティングライセンスサーバ
2. フローティングライセンスサーバ管理ツール
3. クライアント

注記:

※ インストール前に必ず確認ください

- ・ 必ず、管理者権限のあるユーザで Windows にログオンしてからインストールを行ってください。
- ・ バージョンが古いフローティングライセンスサーバがインストールされている場合は、『1-2. フローティングライセンスサーバアンインストール』を参照し、アンインストールしてください。

1. フローティングライセンスサーバ

- ・ フローティングライセンスサーバは Windows 10/11 の OS 上で動作します。
- ・ フローティングライセンスサーバとクライアントとの通信には TCP/IP プロトコルを使用します。そのため、TCP/IP プロトコルがインストールされていない場合、事前に Windows のマニュアルを参照して TCP/IP プロトコルをインストールしてください。また、通信に使用するポート番号の初期値は、「8888」としています。このポート番号が他で使用中の場合には、フローティングライセンスサーバ、クライアント共にインストールのポート番号指定箇所を変更してください。

3. クライアント

- ・ 事前にフローティングライセンスサーバのインストールが必要です。
- ・ フローティングライセンスの場合は、同一 PC 内で SOLIDWORKS を使用していたとしても、「SOLIDWORKS プラグイン」機能を使用することはできません。

1-1. フローティングライセンスサーバ インストール

※ インストール前に必ずご確認ください ※

- ・必ず、管理者権限のあるユーザで Windows にログオンしてからインストールを行ってください。
- ・バージョンが古いフローティングライセンスサーバがインストールされている場合は、『1-2. フローティングライセンスサーバアンインストール』を参照し、アンインストールしてください。

※ 画像は、Windows 10 でのイメージとなります。

1. ダウンロードした 3dx_v***_f_x64.exe をダブルクリックします。
(「v***」にはバージョンが入ります。)
その後、インストール言語選択メニューが表示されます。

インストール言語を選択後、[OK]ボタンをクリックするとパッケージを展開します。

- ※インストールメディアをお持ちの場合は、ドライブに挿入します。
しばらくすると、自動的に起動します。
- ※[ユーザーアカウント制御]ダイアログが表示された場合は、[はい]ボタンをクリックします。

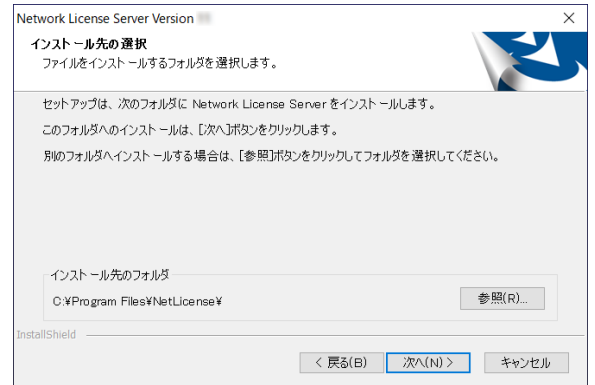


2. トップメニューが表示されます。
[フローティングライセンスサーバのインストール]メニューをクリックします。
インストール準備の完了後、[Network License Server Version 12]ダイアログが表示されます。
表示後、[次へ]ボタンをクリックします。

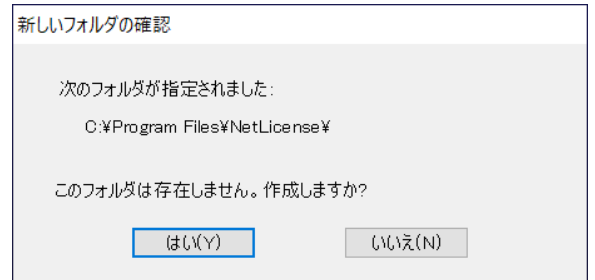


- ※古いバージョンのフローティングライセンスサーバがインストールされている場合は、インストールすることができませんので、『1-2. フローティングライセンスサーバ アンインストール』を参照し、古いバージョンをアンインストールしてください。

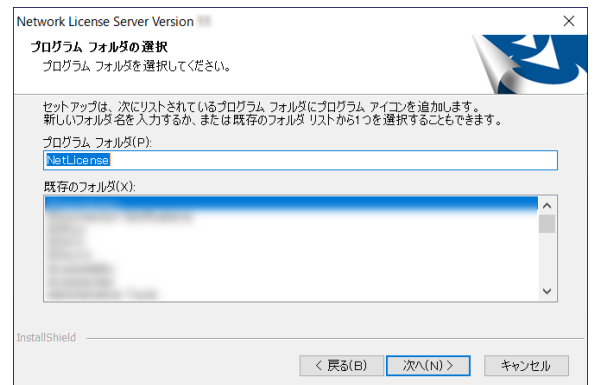
3. 使用許諾契約に同意した場合、
[インストール先の選択]ダイアログが表示されます。
フローティングライセンスサーバをインストールするフォルダを指定します。
インストール先を変更する場合は、[参照]ボタンをクリックし、インストール先を指定します。
インストール先を指定後、[次へ]ボタンをクリックします。



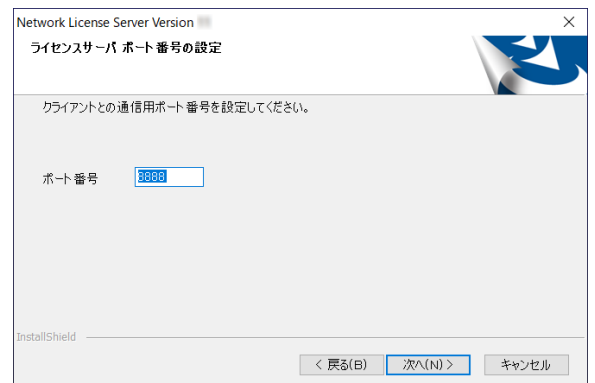
4. 指定したインストール先のフォルダが存在しない場合、
[新しいフォルダの確認]ダイアログが表示されます。
指定したフォルダを作成する場合は[はい]ボタンをクリックします。



5. [プログラム フォルダの選択]ダイアログが表示されます。
フローティングライセンスサーバのプログラムアイコンを追加するプログラムフォルダを指定します。
追加するプログラムフォルダを指定後、[次へ]ボタンをクリックします。



6. フローティングライセンスサーバで使用するポート番号を指定します。(初期値は 8888)
使用ポート番号を指定後、[次へ]ボタンをクリックします。
(ポート番号は、環境に合わせた番号を設定してください。)



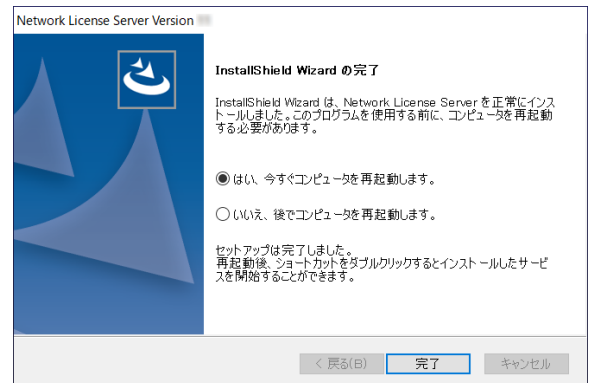
7. [インストール準備の完了]ダイアログが表示されます。
[インストール]ボタンをクリックしてインストールを開始します。



8. [セットアップ ステータス]ダイアログが表示され、プログラムファイルがコピーされます。



9. [InstallShield Wizard の完了]ダイアログが表示されます。ライセンスサーバを利用可能な状態にするため、[はい、今すぐコンピュータを再起動します。]を選択し、[完了]ボタンをクリックします。



10. コンピュータを再起動後、「2. フローティングライセンスサーバ管理ツール」を参照して、ライセンスの登録を行います。

※ライセンス数、またはインターフェースオプションの数や種類を変更する場合は、[NetLicenseController] ダイアログ内の[ライセンス管理]ボタンより、認証解除後新しく発行されたライセンスコードを認証することで変更することができます。

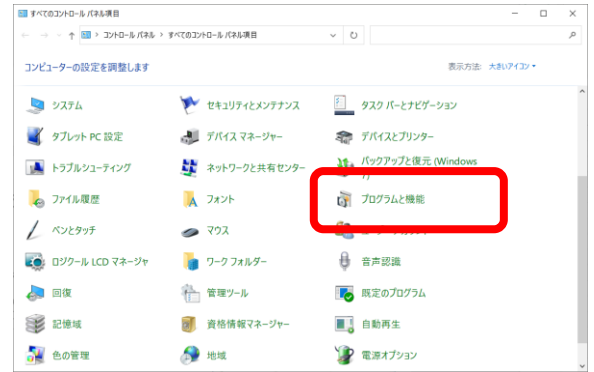
詳細は「2. フローティングライセンスサーバ管理ツール」の「⑥ライセンス管理」を参照してください。

※フローティングライセンスサーバがインストールされているコンピュータにファイアウォールがインストールされている場合、サーバとクライアント間での接続がブロックされるおそれがあります。接続がブロックされた場合は、使用ポート番号、またはフローティングライセンスサーバの通信を許可する設定を別途ファイアウォールに設定していただく必要があります。

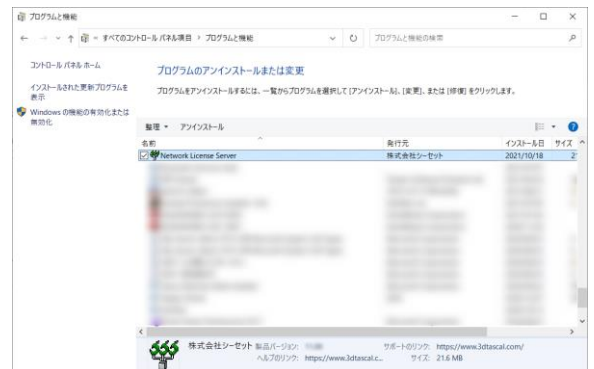
1-2. フローティングライセンスサーバ アンインストール

1. コントロールパネルを開きます。
その中の、[プログラムと機能]をクリックします。

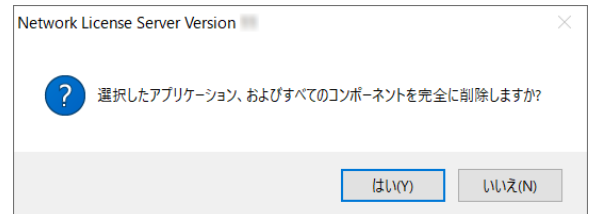
※ご利用の OS、または設定によっては項目の名称や右図とは違った画面が表示される場合がありますので、ご注意ください。



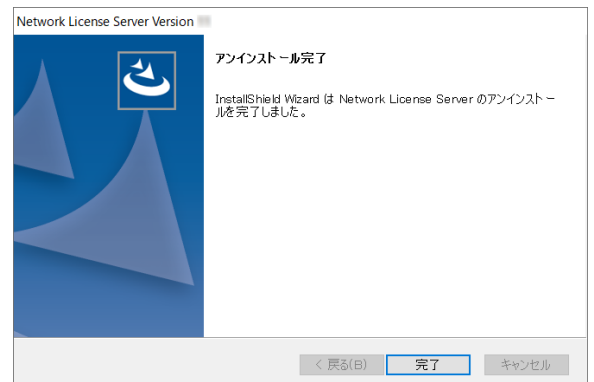
2. 現在インストールされているプログラムの中から Network License Server をクリックし、選択します。
[アンインストール]ボタンをクリックします。



3. アンインストールの確認ダイアログが表示されますので、アンインストールする場合は、[はい]ボタンをクリックします。



4. [アンインストール完了]ダイアログが表示されます。
[完了]ボタンをクリックします。



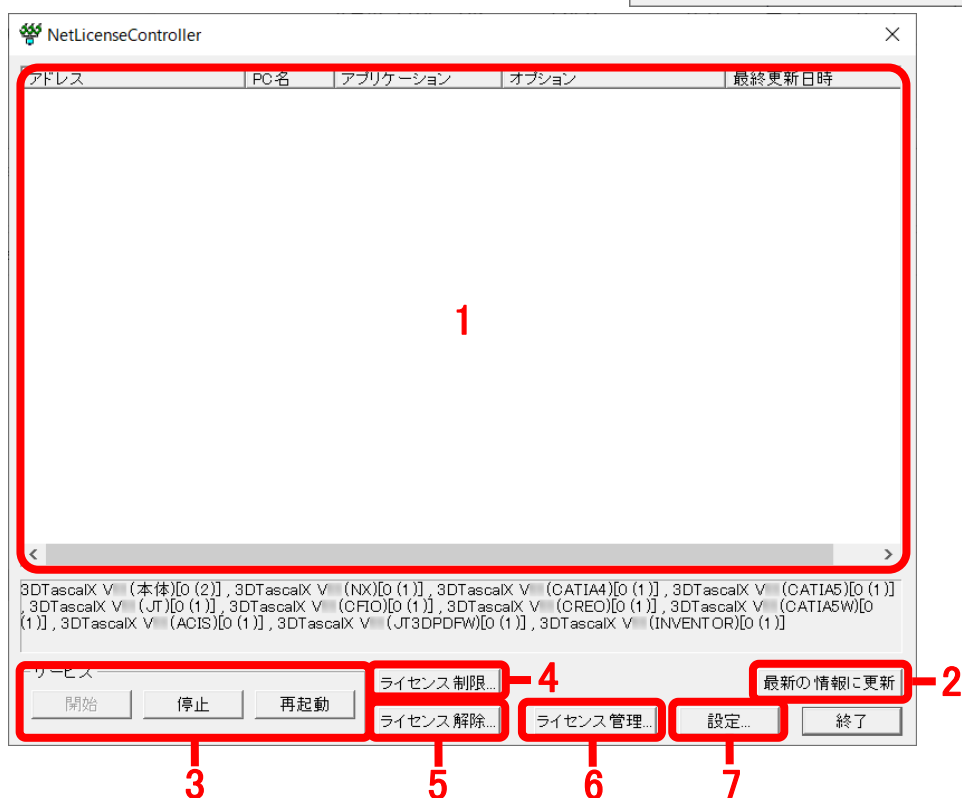
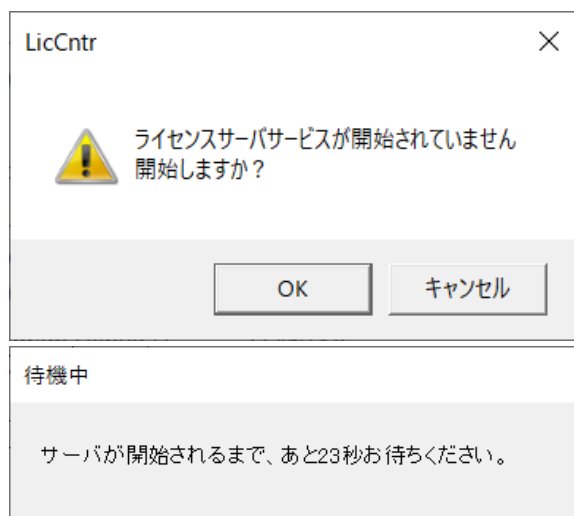
2. フローティングライセンスサーバ管理ツール

設定の前に、お持ちのライセンスコードを認証してください。

[スタート]メニューから[NetLicense]/[NetLicenseController]を選択し、管理ツールを起動します。

サービスが開始されていない場合には、メッセージの[OK]ボタンをクリックしてサービスを開始します。
(サービスの開始まで 30 秒ほどお待ちください。)

サービスの開始後、ご利用の環境に合わせて必要な設定を下記からしていきます。



1. ライセンスリスト

- ・ 取得されているライセンスについての情報を表示する。
- ・ 最終更新日時にはライセンスを取得しているクライアントがサーバに接続した最終の日付が表示される。

2. 最新の情報に更新

- ・ サーバに接続し、ライセンスリスト上のライセンスを最新の情報に更新する。
- ・ ライセンス情報の更新は自動では行われられないため、このボタンにて手動で行う必要がある。

3. サービスの操作

- ・ Windows のサービスとして動作しているフローティングライセンスサーバの開始・停止・再起動を行う。
- ・ この操作はスタートメニューより、[コントロールパネル]/[管理ツール]/[サービス]から [NetLicenseServer] サービスを操作するのと同様の処理を行う。

4. ライセンス制限

- ・ ライセンスの発行を制限する MAC アドレスを登録する。
- ・ ライセンス制限をしたことによる効果をラジオボタンの拒否・許可から選択する。

MACアドレス	制限
---------	----

- ・ **追加する場合は**[追加]ボタンをクリックし、表示された[MAC アドレスの追加]ダイアログから、ライセンスの発行を制限する MAC アドレスを指定し、[追加]ボタンをクリックする。

制限するMACアドレスの追加

MACアドレス

制限する

追加 キャンセル

- ・ 制限内容を**変更する場合は**、[編集]ボタンをクリックし、表示される制限する[MAC アドレスの編集]ダイアログで、MAC アドレスを編集し、[更新]ボタンをクリックする。
- ・ **削除する場合は**、[編集]ボタンをクリックし、[制限する]チェックを外して[更新]ボタンをクリックする。
(次回の[ライセンス制限]ダイアログ表示時に、ライセンスリストには表示されなくなる。)
- ・ 制限内容を変更する際に、MAC アドレスを変更した場合は編集前の MAC アドレスはライセンスリスト上には残るが、制限なしの状態になる。

制限するMACアドレスの編集

MACアドレス

制限する

更新 キャンセル

5. ライセンス解除

- ・ ライセンスの解除を行いたいクライアントをライセンスリストより選択し、[ライセンス解除]をクリックすることで選択したクライアントが取得しているライセンスを解除することができる。

6. ライセンス管理

- ・ 「C' set ActivationManager」を起動する。
- ・ 起動後、所持ライセンスコードを認証することでフローティングライセンスの状態を更新する。

7. 設定

- ・ ライセンスサーバのポート番号の設定を変更する
(初期値は 8888)。変更値はサーバの再起動後有効になる。
- ・ 自動解除時間にはクライアントが一定時間接続を行わない場合に強制的にライセンスを解除する時間を設定する。
この変更は[OK]をクリックした直後にサーバに有効になる。
- ・ 自動解除時間に 0 分を指定することで、ライセンスを自動で解除されないように設定することができる。
- ・ [クライアントで接続先 IP アドレスのダイアログを表示させないようにする]にチェックを入れることで、ライセンスサーバの IP アドレスをクライアント側からは見られないように隠すことができる。
- ・ [クライアントで本体とオプションのライセンス数が同数の場合にオプションマネージャを表示させないようにする]にチェックを入れることで、クライアントとインターフェースオプションのライセンスが同数の場合にオプションマネージャのダイアログを表示せずにインターフェースオプションのライセンスを自動で取得することができる。
- ・ [メッセージファイル]にテキストなどのファイルを指定することで、クライアント側の起動時に設定したテキストの日付とクライアント側の前回接続した日付とを比較し、テキストの日付が新しい場合のみメッセージを表示させることができる。

ライセンスサーバの設定

ポート番号

自動解除時間

自動解除時間には、クライアントがこの時間内に接続確認を行わなかった場合にライセンスを自動的に解除する時間を指定します。(0で自動解除を行わずに出来ます)

クライアントで接続先IPアドレスのダイアログを表示させないようにする

クライアントで本体とオプションのライセンス数が同数の場合にオプションマネージャを表示させないようにする

メッセージファイル 参照...

メッセージファイルにはクライアントで起動時に表示されるメッセージの書かれたテキストファイルを指定してください。ファイルの更新日時を参照していますので古いファイルを指定した場合にはメッセージが表示されることがあります。テキストファイルの容量は3MBに制限されています。それ以上の容量のファイルを指定した場合にはメッセージの転送は行われません。誤って実行可能なファイルが指定された場合も転送は行われません。

OK キャンセル

3-1. クライアント インストール

※ 画像は、Windows 10 でのイメージとなります。

1. ダウンロードした 3dx_v***_f_x64.exe をダブルクリックします。
(「v***」にはバージョンが入ります。)
その後、インストール言語選択メニューが表示されます。

インストール言語を選択後、[OK]ボタンをクリックすると
パッケージを展開します。

※インストールメディアをお持ちの場合は、ドライブに挿入します。
しばらくすると、自動的に起動します。

※[ユーザーアカウント制御]ダイアログが表示された場合は、
[はい]ボタンをクリックします。

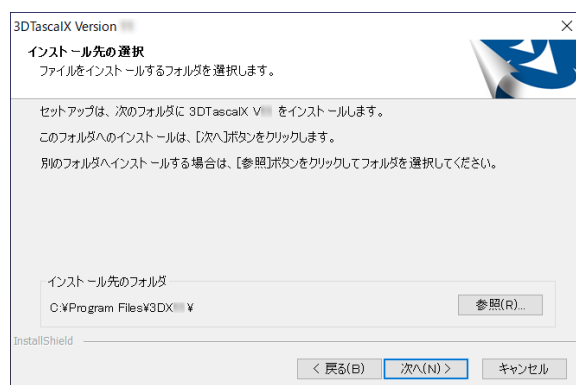


2. トップメニューが表示されます。
[3DTascalX のインストール]メニューをクリックします。
インストール準備の完了後、[3DTascalX Version 12]
ダイアログが表示されます。
表示後、[次へ]ボタンをクリックします。

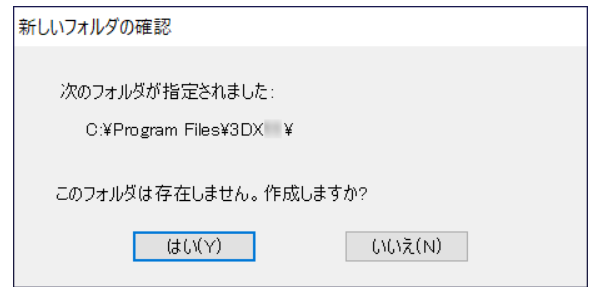


※古いバージョンのクライアントがインストールされている場合は、インストールすることができませんので、
『3-2. クライアント アンインストール』を参照し、古いバージョンをアンインストールしてください。

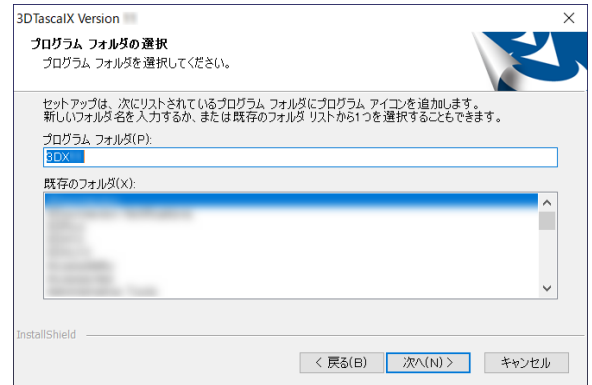
3. 使用許諾契約に同意した場合、
[インストール先の選択]ダイアログが表示されます。
3DTascalX をインストールするフォルダを指定します。
インストール先を変更する場合は、[参照]ボタンをクリックし、
インストール先を指定します。
インストール先を指定後、[次へ]ボタンをクリックします。



4. 指定したインストール先のフォルダが存在しない場合、
[新しいフォルダの確認]ダイアログが表示されます。
指定したフォルダを作成する場合は[はい]ボタンをクリック
します。

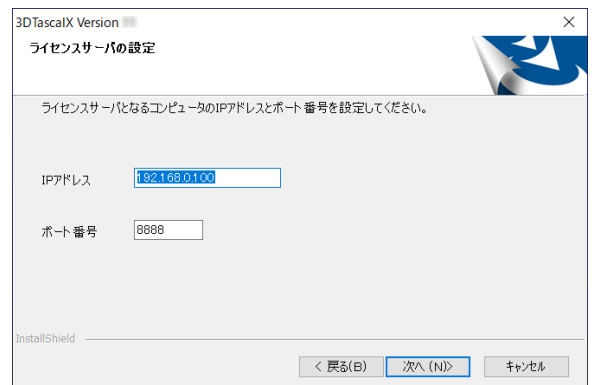


5. [プログラム フォルダの選択]ダイアログが表示されます。
3DTascalX のプログラムアイコンを追加するプログラム
フォルダを指定します。
追加するプログラムフォルダの指定後、[次へ]ボタンを
クリックします。

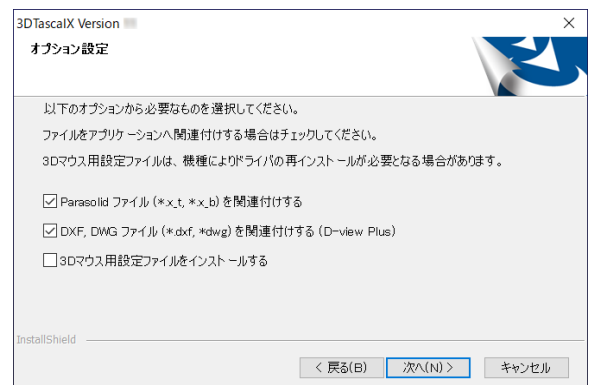


6. [ライセンスサーバの設定]ダイアログが表示されます。
フローティングライセンスサーバの IP アドレスとポート番号を
設定し、[次へ]ボタンをクリックします。

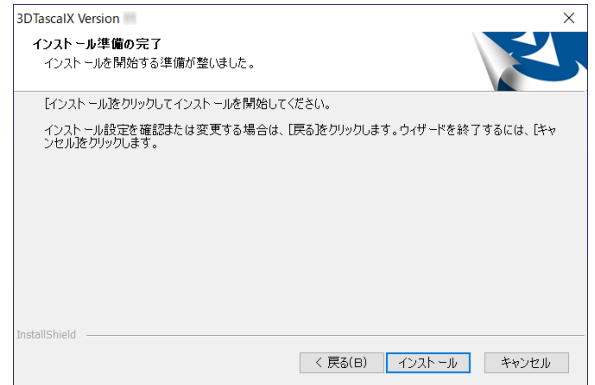
※フローティングライセンスサーバの IP アドレスやポート番号が
わからない場合は、サーバ管理者へ問い合わせてください。



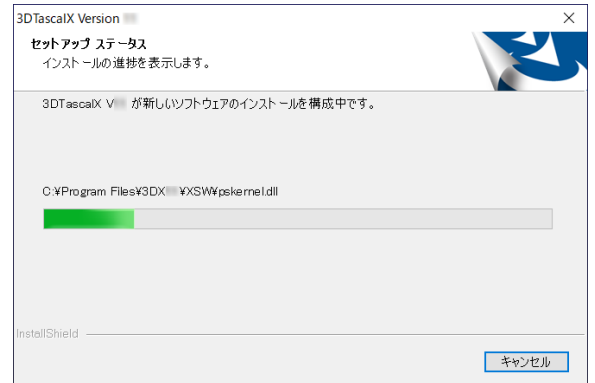
7. [オプション設定]ダイアログが表示されます。
Parasolid ファイル(*.x_t, *.x_b)を 3DTascalX へ関連付ける
場合や、DXF ファイル(*.dxf)、DWG ファイル(*.dwg)を
D-view Plus へ関連付ける場合は、それぞれのチェック
ボックスへチェックを付けます。
3Dconnexion 社の 3D マウスがインストールされている場合、
[3D マウス用設定ファイルをインストールする]チェックボックス
が表示されますので、設定ファイルをインストールする場合は
チェックを付けます。
各オプションを設定後、[次へ]ボタンをクリックします。



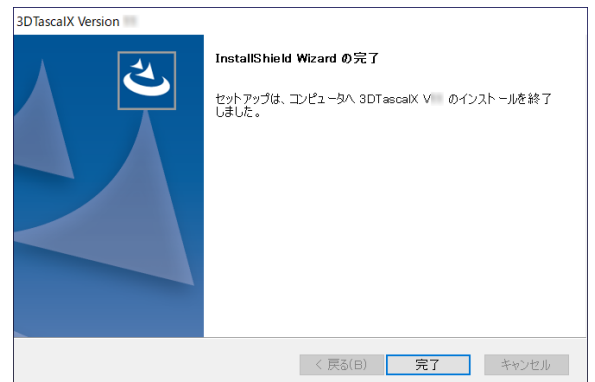
8. [インストール準備の完了]ダイアログが表示されます。
[インストール]ボタンをクリックしてインストールを開始します。



9. [セットアップ ステータス]ダイアログが表示され、
プログラムファイルがコピーされます。



10. [InstallShield Wizard の完了]ダイアログが表示されます。
コンピュータを再起動させる必要がある場合は、
3DTascalX を利用可能な状態にするため、
[はい、今すぐコンピュータを再起動します。]を選択し、
[完了]ボタンをクリックします。

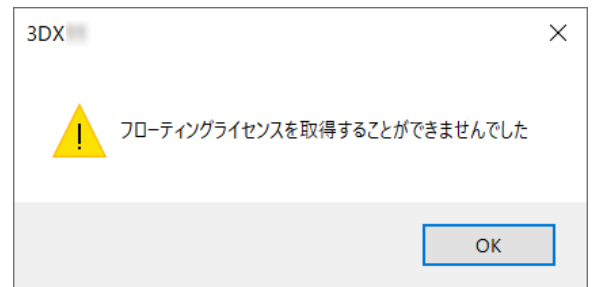


※3DTascalX が起動できない場合は、[スタート]メニューから[3DX12]/[Help]を開き、左のマニュアル内『12章 トラブルシューティング』をご確認ください。

※3DtascalX のクライアントをノードロック版としてご利用する場合の手順については、[スタート]メニューから[3DX12]/[Help]を開き、左の『ご利用になる前に』をご確認ください。
または、こちらの[アクティベーション手順書](#)からでもご確認いただけます。

11. クライアントの起動時、[フローティングライセンスを取得することができませんでした]と表示されることがあります。

このメッセージは、フローティングライセンスサーバの IP アドレスやポート番号誤っている場合や、フローティングライセンスサーバのサービスが動作していない等の原因で表示されている可能性が考えられます。
サーバ管理者へ問い合わせてください。



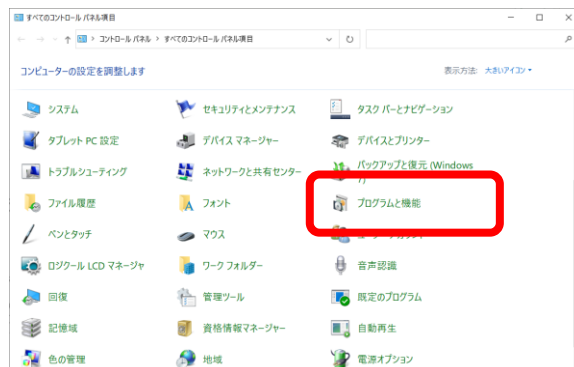
12. ライセンスサーバにインターフェースオプションのライセンスを登録した状態でクライアントを起動すると、[オプションライセンス管理]ダイアログが表示されます。各オプション名に右の[ライセンス取得]ボタンをクリックするとボタンの表記が[使用可能]へ切り替わり、オプション名のライセンスを取得したことを表示します。
[終了]ボタンをクリックします。
ライセンスを取得したインターフェースオプションの使用が可能となります。



3-2. クライアント アンインストール

1. コントロールパネルを開きます。
その中の、[プログラムと機能]をクリックします。

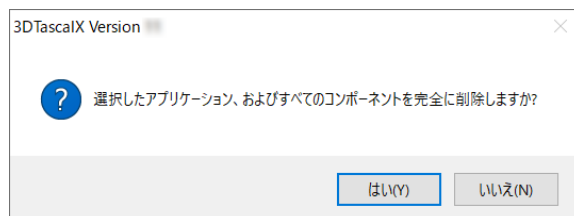
※ご利用の OS、または設定によっては項目の名称や右図とは違った画面が表示される場合がありますので、ご注意ください。



2. 現在インストールされているプログラムの中から「3DTascalX V12」をクリックし、選択します。
[アンインストール]ボタンをクリックします。



3. アンインストールの確認ダイアログが表示されますので、アンインストールする場合は、[はい]ボタンをクリックします。



4. [アンインストール完了]ダイアログが表示されます。
[完了]ボタンをクリックします。

